

第2回 横浜市栄区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和7年4月30日（水） 午後1時00分から午後5時20分まで
開 催 場 所	栄区役所新館4階8号会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 豊田 宗裕 （聖徳大学 心理・福祉学部社会福祉学科 教授） 委員 荒井 文夫 （「いでたち」 副代表） 石井 繁晴 （栄区保健活動推進委員会 会長） 立木 正子 （立木会計事務所 代表） 田野井 千香子 （栄区主任児童委員連絡会 副代表） 長谷川 桂子 （「あしたばの会」 代表） 細田 利明 （栄区連合町内会 会長） 本田 桂子 （栄区民生委員児童委員協議会 会長） 【事務局】 栄区福祉保健課長 栗竹 史明 栄区福祉保健課事業企画担当係長 三石 枝里子 栄区福祉保健課事業企画担当 畑尻 健太郎 栄区福祉保健課事業企画担当 佐藤 有希
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者0人）
議 題	1 事前確認事項 2 応募資格等の確認 3 応募団体の面接審査 4 指定候補者及び次点候補者の選定、講評 (1) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 (2) 選定、講評
決 定 事 項	指定候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市栄区長に報告することとする。 1 横浜市豊田地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

	次点候補者：なし 2 横浜市笠間地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人同塵会 次点候補者：なし 3 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし 4 横浜市中野地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人ル・プリ 次点候補者：なし 5 横浜市桂台地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人訪問の家 次点候補者：なし
議 事	<u>1 事前確認事項</u> 事務局から、公募の結果5団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。 ○委員会の公開・非公開 応募団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み) ※なお、応募団体の面接（プレゼンテーション及びヒアリング）は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。 ○選定方法の確認 ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 ○委員との利害関係の確認 委員の内、1名と横浜市豊田地域ケアプラザの応募団体との間に利害関係があることが認められたため、横浜市豊田地域ケアプラザの面接審査及び指定候補者の選定から除斥することを確認した。 なお、その他の委員と応募団体との間に利害関係が無いことを確認した。 <u>2 応募資格等の確認</u> 事務局から次の項目について確認した。 ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。

- ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。

3 応募団体の面接審査

(1) 面接審査

ア 横浜市豊田地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 豊田地域ケアプラザの場所や役割についてどのように周知していくことを検討しているか。

(団体) 広報紙を活用した周知に加え、地域に出向き講座等を実施していく。

(委員) 現在、地域で配食サービスは行っているか。

(団体) 行っている。

(委員) 7 地域ケアプラザで集まる会議等は実施されているか。

(団体) 職種ごとの会議がある他、近隣の地域ケアプラザと連携し、事業を進めている。

(委員) 今後、求められること、必要なことについて伺いたい。

(団体) 新たな担い手発掘が必要と考えている。

イ 横浜市笠間地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 笠間地区と豊田地区のそれぞれの連合との関わり方についてどのように考えているか。

(団体) 笠間地区は連合と、豊田地区は町内会単位で関わりを進めていく。豊田地区の町内会に対しては、豊田地区の地区別計画の趣旨に則ったアプローチを行っていく。

(委員) ボランティアの発掘、活動の場の提供等についてどのように進めていくか。

(団体) 駅前という立地を活かしながら様々なツールを活用し、ボランティア活動につなげていく。

ウ 横浜市小菅ケ谷地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

	(イ) 主な質疑応答 (委員) 利用可能な駐車場が限られているが、どのような対策をしていくか。 (団体) 近隣の公共施設等の駐車場の利用を促していく。 (委員) 「男性向け家事講座」の概要について伺いたい。 (団体) 社会参加のきっかけづくりとして2～3月に実施し、6名の参加があった。講座後の活動にもつながっているため、内容を検討し引き続き実施をしていく。 (委員) チームオレンジの取組について伺いたい。 (団体) 令和5年度から実施をしており、キャンドルホルダー作り、認知症サポーター養成講座、映画の上映会を行った。次期指定期間に関しても、引き続き実施していく。 (委員) 近隣に新しい地域ケアプラザができたことで、影響はあったか。 (団体) 担当の地域ケアプラザが変更になった方へ、ご相談に来られたタイミングで都度、どちらの地域ケアプラザを利用いただくかのご説明を行っている。また、以前相談に来ていた方が途切れず相談できるよう、近隣地域ケアプラザへ引継ぎを行っている。 エ 横浜市中野地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 合築の障害者就労施設には何名の障害者が通われているのか。 (団体) 100名を超える方が通われている。 (委員) 「本三支えあいフェスタ」を引き続き実施していけるよう、サポートをお願いしたい。 (団体) 引き続き地域と一緒に盛り上げていきたい。 (委員) 自治会・町内会を巻き込んで事業を進めていくうえで重視していることはあるか。 (団体) 日頃から自治会・町内会とつながりを持つこと、キーパーソンになりうる方へのアプローチを行うことを意識している。 オ 横浜市桂台地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) これまでの地域ケア会議の開催頻度、出席者について伺いたい。 (団体) 令和6年度は5回実施し、テーマや課題に応じて、民生委員・児童委員、自治会・町内会、郵便局、新聞配達の方、消防、警察等をお
--	---

呼びしている。

(委員) 地域ケア会議を運営してきた中で大変だと感じたことはあったか。

(団体) 会議を重ねていく中で、どのように展開していくか悩むことがあった。その際は、地域ケアプラザ・行政で定期的に話し合いをしている。

(委員) 交通の地域課題に対して、コミュニティバスの運行を開始したとあるが、概要を伺いたい。

(団体) 関わりがあった特別養護老人ホームと調整し、週に1回マイクロバスを利用させていただくことになった。

(委員) 庭木の管理が十分にできないというニーズを解決するためにどのような取組を行ったか。

(団体) メンバーを集めるため、剪定講座を実施した。その後、「さかえグリーン協力隊」を立ち上げ、自主事業として活動している。

4 指定候補者及び次点候補者の選定、講評

(1) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

立木委員より財務分析結果報告書について説明。

事務局より本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

(2) 選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(ア) 横浜市豊田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会	1,159／1,625 点	1,129／885 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

地域ケアプラザに加え様々な施設運営の実績とノウハウの蓄積が認められる。また、地域ケアプラザ内のみならず、担当地域へ出向き、個別課題を把握、解決していく取組姿勢が評価できる。今後は、常勤職員の安定した配置及び個人情報漏えい事故等の防止に取り組んでいただくことを期待している。

(イ) 横浜市笠間地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人同塵会	1,330／1,950 点	1,274／1,062 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

利用者の多様なニーズ、ご意見に真摯に向き合い、対応してきたことが伺える。また、安定した経営基盤、指定管理料の適切な費用配分について評価ができる。今後は、地域の特徴や駅前の立地を活かした先進的な事業展開を進めるとともに、個人情報漏えい事故の防止にも取り組んでいただくことを期待している。

(ウ) 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜市福祉サービス協会	1,506／2,010 点	1,440／1,098 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

横浜市内で 21 館の地域ケアプラザを運営しており、運営実績とノウハウの蓄積が認められる。また、高齢者、子どもを対象とした、幅広い事業展開が評価できる。今後は、合築施設と更なる連携を深め、障害者を対象とした事業を進めるとともに、個人情報漏えい事故等の防止にも取り組んでいただくことを期待している。

(エ) 横浜市中野地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人ル・プリ	1,358／1,950 点	1,318／1,062 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

地域のニーズを十分に理解したうえで、地域住民が主体となって活動に取り組めるよう支援している点が評価できる。また、合築施設と協働して、障害者が地域社会で安心して暮らせる環境づくりを促進している点も評価できる。今後も安全に配慮しながら、合築施設の利点を最大限に活かした取組の推進を期待している。

(オ) 横浜市桂台地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準
--	------	---------	--------

				得点／基準点
	指定候補者	社会福祉法人訪問の家	1,372／1,950 点	1,332／1,062 点
	次点候補者	なし	-	-
	(審査講評)			
	高齢者、子ども、障害者の分野について、幅広く支援している点が評価できる。また、地域ケア会議を運営していく中で、関係機関等と共に地域課題の解決を進めている点についても評価できる。引き続き、柔軟な発想のもと、地域の生活課題を的確に捉え、社会資源につなげる取組を進めていただくことを期待している。			
	応募団体の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市社会福祉協議会他を指定候補者として選定することを決定する。			
資 料 ・ 特 記 事 項	<u>1 資料</u>			
	(1) 横浜市栄区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員名簿 (2) 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（抜粋） (3) 選定の流れ (4) 評価基準・採点方法について (5) 選定スケジュール			
	<u>2 特記事項</u>			
	特になし			